

【様式】 令和4年度 奥越明成高等学校 学校関係者評価書

(問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか。

(意見を聞いた方)
奥越明成高校 PTA役員10名、奥越地区中学校長2名

(意見欄)

○教育課程・学習支援

・生徒の成果指標、教職員の取り組み指標が目標を上回っているのはとても良い。個々の能力に応じた支援を、という改善策は適切である。

○生徒支援・進路支援

・生徒の成果指標、教職員の取り組み指標が高いのは、先生方の日々の指導によって生徒が勉強や部活動に意欲的に取り組んでいる証拠だと思う。
・様々な場面で生徒に会うことがあるが、正しい身なりで生活できている。

○保健・安全管理

・いじめチェックシートをしてもいじめがなくなるわけではないが、先生方が気にかけてくれているのはありがたい。

○図書支援(PTA含む)

・PTA活動に関心を持つ保護者が目標指数に達していて良い。PTAの活動として、コロナ禍で中止となっていた、体育祭での販売ができてよかった。
・中学校でも読書が好きな生徒の割合は低い。新聞の閲覧等を含むと少し数値が増えるのではないか。

○専門支援

・どの学科も一年次および二年次は基礎を、三年次にはその集大成として応用的なことや社会への参加を取り入れており、適切だと思う。
・学科ごとに目標を順次定め、生徒が達成感を味わえるように考えられており、適切だと思う。

○多忙化解消

・会議や委員会の見直しと精選を進めるとともに、効率化と時間短縮を図ってもらいたい。生徒支援の時間や、教員としての資質向上や自己研鑽の時間を削るべきではない。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

・学校評価やスクールポリシーに関しては、PTA役員の方だけでなく、地域の方たちにも広く意見を求める。
・学校関係者からの評価を関連部署でよく検討し、具体的な改善策や向上策を策定し実行していく。